

令和5年度社員総会議事録

日時：2024年5月19日（日）10：30～12：00

会場：福井商工会議所

司会：清水浩介（福井循環器病院）

議長：内藤智子（奥村病院）

副議長：稲倉貴弘（公立丹南病院）

書記：恩田めぐみ（総合福祉相談所）

石田登貴代（福井総合病院）

総定足数：892名

出席社員数：40名

委任状数：653名

この議決権の総数：693名

福井県理学療法士会会員の半数を超えており、定款第4章第16条に基づき本総会が成立することをご報告いたします。

【第1号議案】令和5年度事業報告並びに承認を求める件

資料に基づき、会長および各局理事より令和5年度事業報告があった。

半数以上の会員により承認された。

【第2号議案】令和5年決算報告・監査報告並びに承認を求める件

資料の基づき、事務局清水理事より決算報告があった。経常収益としては会員の会費が一番を占めており、昨年度と同様。認定理学療法講習開催の収益もあり、昨年度より伸びた。コロナが5類に移行し、研修会等が再開され、活動が活発になったため、当期経常上限額が徐々にマイナスとなった。公益目的事業積立金について、50周年記念と来年度に福井で開催される東海北陸学術大会にむけた積み立てとの説明があった。続いて資料に基づき丹後監事、山口監事より監査報告があった。

質疑後に半数以上の会員により承認された。

質疑 堀秀昭先生（福井医療大学）

質問1：生涯学習部に対し質問。日本理学療法学会連合会との関係性について、広報活動等はどうに行っているのか。

回答1：北出一平先生（福井大学医学部附属病院）生涯学習部と研修管理部のほうで、各施設代表及び研究会代表やブロック代表などに生涯学習の周知、啓発を行っている。今後はブロックで周知していく形へ移行。今後も啓発を増やす。

質問2：人命救助の内容について。新聞等で報道されたのか。

回答2：四谷代表理事より、福井県立病院の田中先生を含む大人4名が、子供のクラブ活動中に心臓停止したスタッフに対し、AEDを用いて人命救助を行った。新聞、テレビ等で報道された。

【第3号議案】役員改選の承認を求める件

議長は、現理事及び監事が本定時総会の終結と同時に任期満了し、退任することになるので、改選の必要となる旨を述べた。議長が下記の者につきその可否を諮ったところ、満場一致により承認された。

なお、被選任者は、席上その就任を承諾した。

議長は、今般、代表理事 四谷 昌嗣が理事の任期御満了により代表理事の資格を喪失し、退任することになるので、臨時理事会にて当法人の代表理事を選定したい旨を述べ、一同これを承認した。理事会にて下記の者を指名し、この者につきその可否を諮ったところ、満場異議なくこれに賛同したので、下記のとおり可決決定した。

代表理事 小澤純一

なお、被選任者は、席上その就任を承諾した。

【第4号議案】令和6年事業計画案並びに承認を求める件

資料に基づき、会長および各局理事より令和6年度事業計画案の報告があった。

半数以上の会員により承認された。

【第5号議案】令和6年予算案並びに承認を求める件

資料の基づき、事務局清水理事より予算案の報告があった。

認定カリキュラムが今年は開催されないため研修管理部研修会参加費と生涯学習推進部は予算減額した。一方で50周年記念事業と第41回東海北陸理学療法学会準備委員会は予算増額したとの報告があった。

質疑後に半数以上の会員により承認により承認された。

堀秀昭先生（福井医療大学）

質問1：シニア会員が10年後に100人ぐらい増える。シニア会員が働きやすい場作りを検討してほしい。

回答1：小澤会長より。定年延長が行われている現状もあり、今後は予防医学等で理学療法士として貢献できる場を模索していきたい。また、シニア会員の平日、日中の士会活動や、実働が無理な場合は知恵を借りるなど検討していきたい。